

HARUMA SATO
KEI ITOH

中部電力グループ U-20 ソリストたち Vol.6

佐藤晴真

第83回日本音楽コンクール第一位。
期待の若手奏者の“今”を聴く——

チエロリサイタル

Piano
伊藤恵

Cello



2016年4月28日 木 PM7:00開演 (PM6:30開場)

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

全自由席 ¥2,500 学生 ¥1,000

※学生券は電気文化会館チケットセンターのみ取扱い

Program

- | | |
|---------------------------|--|
| J.S. バッハ
J.S. Bach | 無伴奏チェロ組曲 第5番 ハ短調 BWV.1011
Suite for Violoncello No.5 in C minor, BWV 1011 |
| ベートーヴェン
L.v. Beethoven | チェロ・ソナタ ハ長調 op.102-1
Sonata for Violoncello and Piano No.4 in C Major, op.102-1 |
| シューマン
R. Schumann | アダージョとアレグロ op.70
Adagio and Allegro, op.70 |
| ショパン
F. Chopin | チェロ・ソナタ ト短調 op.65
Sonata for Violoncello and Piano in G Minor, op.65 |

© 武蔵堂

30th Anniversary

【主催・お問合せ】電気文化会館 (052) 204-1133 【協力】ブランディール音楽事務所 (052) 955-5606

チケット
お取扱い

■電気文化会館チケットセンター (052) 204-1133 <http://www.chudenfudosan.co.jp>
■チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 [Pコード:284-298]
■芸文PG (052) 972-0430 ■ヤマハ/PG (052) 201-5152

ザ・コンサートホール・メイ
会員募集中!!

主催公演の優先予約&チケット2割引
入会金無料 年会費 1,200円

「U-20」の企画で伊藤恵先生と共演させていただき事になりましたが、恵先生から生み出されるあの歌心が僕のすぐ近くに…!とイメージするだけでも、今から楽しみで仕方ありません。

今回のメインはショパンです。彼は、ピアノ以外では、唯一チェロのために、ピアノとのデュオの形で3つの作品を残しました。このチェロソナタは最晩年の大作で、ピアノとの対話も濃く技術的に難しい作品ですが、今のあなたの音色はショパンに合っていると思う、という恩師の助言でこの作品への取り組みを決めました。

4人の偉大な作曲家と会場の皆様・恵先生・僕が、心に残る出会いに恵まれるよう努めたいと思っています!

佐藤晴真

PROFILE

佐藤晴真 Haruma Sato/チェロ

6歳より林良一氏の指導のもとチェロを始める。

6年間NHK名古屋青少年交響楽団で活動。小澤征爾音楽塾オーケストラ参加。日本チェロ協会主催「第4回チェロの日」、京都即成院にて音楽奉納演奏会出演。町田市「水曜午後の音楽会」では独奏チェロによる演奏会を行う。オリエントミスト影島清恵氏、バイオリニスト江口有香氏と共演。その他コンチェルトを、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部大学管弦楽団、NHK名古屋青少年交響楽団と共演。NHK名古屋放送局「さらさらサラダ」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。

第11回泉の森ジュニアチェロコンクール中学生部門金賞。第67回全日本学生音楽コンクールチェロ部門高校の部第1位及び日本放送協会賞。第83回日本音楽コンクールチェロ部門第1位及び徳永賞・黒柳賞等を受賞。

学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金第1回〈アリオン桐朋音楽賞〉受賞。

東京都北区民文化奨励賞受賞。ヤマハ音楽振興会2015年度音楽奨学生。これまでに倉田澄子、G・リヴィニウス、Y・P・マイイツ各氏のマスタークラスを受講。また、林裕、J=G・ケラス、A・ムニエ、C・イヴァルディ、石坂団十郎、H・ジェンセン各氏の教えを受ける。ドイツカンマーゾリステン講習会、秋吉台ミュージックアカデミー受講。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校3年。山崎伸子、中木健二の両氏に師事。



© 武藤章

伊藤 恵 Kei Itoh/ピアノ

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。エピナール国際コンクール、J.S.バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールと数々のコンクールに入賞。

1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ部門で日本人として初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン国立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響、ベルリン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本では「若い芽のコンサート」でNHK響と協演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍を続けている。録音はシューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアーナ(1~13)」、「ブラームス: ピアノ協奏曲」、「ショパン: エチュード」、最新版として「シューベルトピアノ作品集5」がフォンテックからリリースされている。2007年秋には、シューマン・ピアノ曲全曲録音完成記念コンサートが行われ好評を博した。2008年からはシューベルトを中心としたリサイタルを開始。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。